三菱ふそう環境・社会報告書2013について

※ 本書中の「三菱ふそう」とは、三菱ふそうトラック・バス株式会社を示します

編集方針

三菱ふそうは、トラック・バスという公共性のある製品を世の中に送り出す企業として、当社の環境保全の取り組み、社会活動などをステークホルダー（利害関係者）の皆様に情報開示することを目的に、環境・社会報告書2013を発行します。

報告対象期間

本報告書の対象範囲は、基本的に2012年(2012年1月～2012年12月)とします。ただし、各種法律や業界とのかかわりにより、年度をベースとした取り組みについては、2012年度(2012年4月～2013年3月）における内容および実績データを報告します。

報告対象範囲

主として三菱ふそうの日本国内における取り組みについて、環境負荷低減、社会との関わり、環境レポートの3つの構成で報告します。

参照ガイドライン

環境省発行の「環境報告ガイドライン（2012年版）」に基づいて掲載内容の充実を図るとともに、わかりやすさの向上に努めています。

企業概要

シンボルマーク

FUSO

商　　号　三菱ふそうトラック・バス株式会社
Mitsubishi Fuso Truck and Bus Corporation

設　　立　2003年（平成15年）1月6日

本　　社　〒212－0058
神奈川県川崎市幸区鹿島田1－1－2

資 本 金　350億円

主な事業　トラック・バス、産業エンジンなどの開発、設計、製造、売買、輸出入、その他取引業

在籍人員　約11,000名

売 上 高　6,558億円（2012年1月～12月）

販売台数　国内 34,970台/ 海外139,001台
合計173,971台（2012年1月～12月）

ホームページアドレス
http://www.mitsubishi-fuso.com ／

All for you

私たち三菱ふそうトラック・バス株式会社は、すべての人々の暮らしに密接にかかわるトラックやバスを製造販売する会社として、大切な社会や環境、大切なお客様のために何ができるかを常に考えています。「お客様にとってのNo.1」「最も信頼される企業」に少しでも近づくため、私たちの企業活動を「All for you」という言葉に込め、すべての大切な社会や環境、そして、大切なお客様のために役立てていけるよう追求し続けます。

三菱ふそうの役割

FUSOの位置づけ

ダイムラー・トラック部門は、メルセデス・ベンツ、三菱ふそう（MFTBC）、フレイトライナー、バーラト・ベンツという4つの主要ブランドで構成されています。
すなわち、三菱ふそうは、世界最大のトラックメーカーを構成する一員なのです。

Mercedes-Benz

欧州および南米、中近東において高性能商用車ブランドとしての存在を不動のものとしている「メルセデス･ベンツ」。その輝かしい歴史を背景に､安全･環境技術において世界の最先端をリードし続けています。

FUSO

1932年にB46型バス「ふそう」を製造してから約80年。現在、アジアをはじめとして世界中に認知されるブランドへと躍進。品質・技術・サービスのすべてにおいて「お客様第一」を目指して、走り続けています。

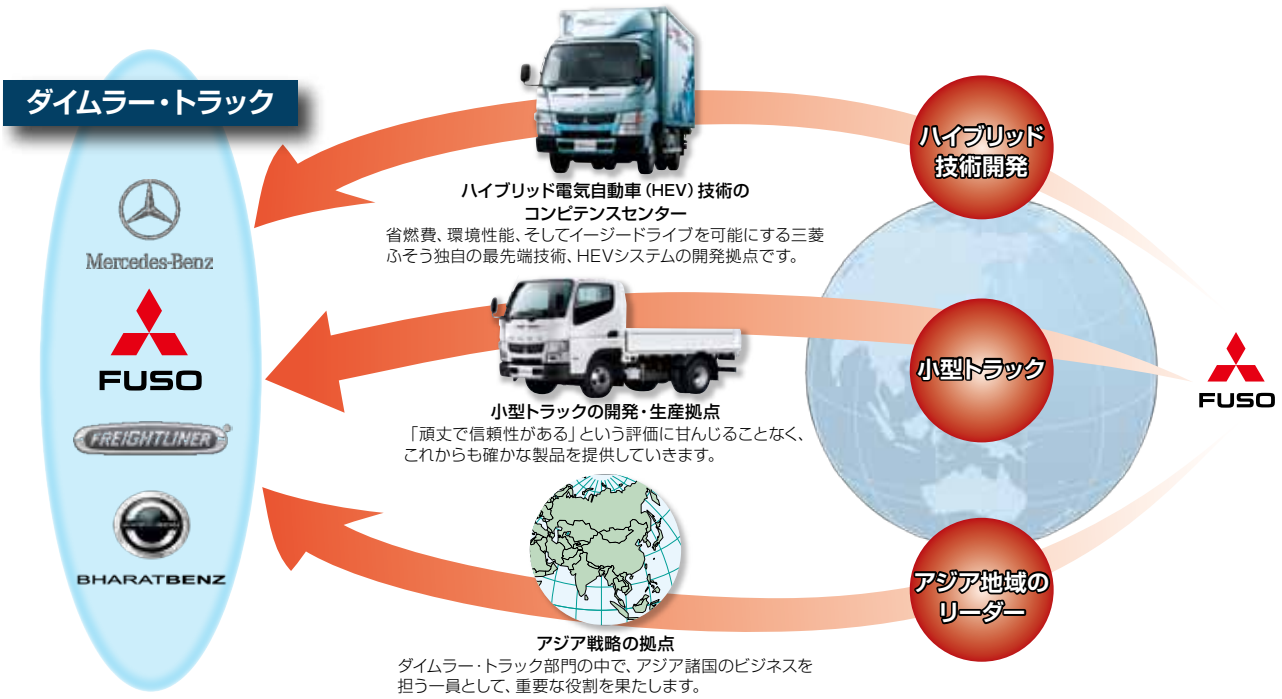
FREIGHTLINER

北米において､大中型トラックのリーディングブランドである｢フレイトライナー｣。ダイムラー･トラック・ノース・アメリカの傘下ブランドとして「ウェスタン・スター」「トーマス・ビルト・バス」「フレイトライナー・カスタム・シャシ」「デトロイト・ディーゼル」とともに、高品質の製品・サービスを提供しています。

BHARATBENZ

インド向けに2011年に誕生した新ブランドが「バーラト・ベンツ」。ダイムラーのDNAとインド市場のノウハウを融合させ、インド特有の道路事情、輸送事情に対応したトラックを開発・生産しています。三菱ふそうは車両の開発・生産を全面的にサポートしています。

ダイムラー・トラック部門における三菱ふそうの役割



目　次

三菱ふそう環境・社会報告書2013について P.1

三菱ふそうの役割 P.2

目次 P.3

トップコミットメント P.4

FUSO 2015

5つの柱の事業戦略「FUSO 2015」 P.5

環境負荷低減への取り組み

環境指針／組織体制 P.7

環境マネジメント P.8

新環境中期行動計画 P.9

環境にやさしいモデル拠点として稼働 ～八女サービスセンター～ P.11

省エネルギー・地球温暖化防止への取り組み P.13

排出ガス・大気環境保全への取り組み P.17

化学物質・有害物質／騒音・その他公害への取り組み P.18

リサイクル P.19

廃棄物削減と再資源化への取り組み／環境の整備と環境意識の向上 P.20

社会の一員としての取り組み

コンプライアンス P.21

お客様との関わり P.22

乗客の安全を考慮し、進化する安全性能 ～ふそうバスの安全技術～ P.25

安全に対する取り組み P.27

社会との関わり P.28

従業員との関わり P.29

環境レポート

海外関連会社の取り組み P.31

環境レポート P.32

製作所レポート P.33

刊行にあたって

1932年に当社最初のバスとして「ふそう」というブランド名が誕生してから80年。主力商品の小型トラック「キャンター」が誕生してから50年。そして当社が三菱ふそうトラック･バス株式会社として発足して10年を迎えるなど、今年は「ふそう」にとって記念すべき年です。ここまでの長い歴史を作り上げてこられたのも、国内や海外で、ふそうトラック･バスをご愛用いただいているお客様やビジネスパートナーの皆様のお蔭と心から感謝を申し上げます。

2011年に公表し、全社員参加で取り組んでいます「FUSO 2015」は、2014年末のゴールに向けて最後の実行段階へと進んでおります。本書ではその成果の一端を報告させていただきます。

「製品」面では国内の厳しい排出ガス規制や高い燃費基準値に果敢にチャレンジしてまいりました。全ての車両においてNOxとPMの排出量を規制値から10%以上低減した「低排出ガス認定車」とするとともに、燃費でも販売台数の90%以上の車両で2015年度燃費基準をクリアするなど、高い環境性能の車両を送り出しております。また安全性能にも積極的に取り組んでおり、特に大型車で重要な予防安全の面では、従来から業界をリードしてきた「運転注意力低下警報装置（MDAS）」の一層の機能向上や、衝突の恐れがあるときにブレーキ制御で速度を抑える「衝突被害軽減ブレーキ（AMB）」などの安全装備を積極的に採用して、安全・安心な運行をお客様に提供してまいります。

「生産」、「販売」、「サービス」の面においては、生産工場、各地の販売拠点やサービス工場のリニューアルを進めて、省エネルギーと環境性能を高めていくとともに、お客様への質の高いサービスの提供を目指してまいります。

さらに真のグローバル企業を目指して、女性社員や留学生の参加など社員のダイバーシティ（多様性）の取り組みも進めていきます。

ダイムラー･トラックグループの新たなブランドであるバーラト･ベンツとも、三菱ふそうの車両の開発･生産のサポートなどで協力関係を強化し、アジア地域の発展にも貢献してまいります。

三菱ふそうはこれからも社員・関係者一丸となって、地球環境の保全、安全性の向上、社会への貢献に積極的に取り組んでまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。
皆様の本報告書に対する率直なご意見・ご感想をいただければ、幸いです。

三菱ふそうトラック･バス株式会社
取締役会長
鈴木 孝男

三菱ふそうトラック･バス株式会社
代表取締役社長
最高経営責任者（CEO）
アルバート・キルヒマン